

2007年9月14日(金)

## SCE・Net 福島原子力発電所見学会の最終案内

過ごし易い季節になりました。SCE・Net交流会の第1回見学会を下記の通り実施します。今回は20名の参加希望者がありました。

交流会担当幹事:道木 英之

— 記 —

日 時:平成 19 年 9 月 26 日(水)

12 時 50 分にJR大野駅改札口集合。

東京(JR 上野駅)→JR大野駅(常磐線で 2 時間 45 分)。

JR大野駅改札口に集合して送迎バス(東京電力)で現地に向かいます。

予定列車

往路:JR 上野駅 10 時 00 分発 特急スーパーひたち 15 号(大野駅着 12 時 45 分)

復路:JR 大野駅 16 時 38 分発 特急スーパーひたち 54 号(上野駅着 19 時 35 分)

場 所:東京電力(株)福島第一原子力発電所

〒979-1301 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原 22

連絡先: 所属:福島第一原子力発電所 所長付部長

担当者: 桑原 浩久様 TEL:0240(32)0103 (内線) 963-2300

ホームページ:<http://www.tepco.co.jp/fukushima1-np>

(場所についての詳細はホームページの「アクセス」でご覧いただけます)

参加者:20名

当日は13時00分頃から事務所(サービスホール)で説明を受けた後、現場に移動して工場見学を行います。概要の説明に30分程度、見学会に1時間20分程度、質疑応答に30分程度を予定しております(終了時間は16時10分頃の予定です)。質問等がありましたらご用意下さい。

今回の見学会は東京電力(株)の元副社長 竹内 哲夫様、ならびにエネルギーネット代表の小川 博巳様のご好意により実施することになりました。また、東京電力福島第一発電所所長の 大出 厚様にも対応して頂けそうです。

追伸

1. 今回の見学会は現地集合、現地解散(JR大野駅)の予定です。

(JR大野駅からは東電殿の送迎バスで現地に向います)。

往路は上野発の特急を利用される方が多いと思います。上野から同じ電車になると思いますので、特急券を各自で購入して1号車(自由席)に乗車して頂ければと思います。

他の交通を利用される方はJR大野駅に 12:50 分集合ということでお願いします。

その他、急用がある場合には道木まで連絡下さい(道木携帯 090-6533-9255)

2. 当日、手土産代として 200 円/人徴収させていただきますのでよろしくお願いします。
3. 昼食は各自済ませておいて下さい。
4. 先日、エネルギーネット代表の小川 博巳様から下記のような新聞記事(引用)を頂きました。

—以下引用—

### 070830\_毎日\_東京電力:トラブル隠し「風化させず」 パネルディスカッションと説明会 ／福島

8月30日 11時1分配信 毎日新聞

◇第1原発でパネルディスカッション／第2原発で「安心の発電所」説明会

東京電力は29日、福島第1、第2原発で、安全性確保を目指したイベントをそれぞれ開いた。一連のトラブル隠しを公表した02年8月29日を「風化させない」と、03年から開催している。

第1原発では「8・29福一維新の日」と名付け、同原発の事務本館でパネルディスカッションを開催。建設時から原発にかかわった大熊、双葉両町の当時の町議、町職員の計4人をパネリストに招いた。パネリストは原発との共生を訴えながらも、「安全安心へ向け、関係企業とのリスク管理を一致してほしい」などと東電に注文もつけた。最後に第1原発の大出厚所長が「安全確保を最優先に、地域に根ざした発電所を目指す」と述べた。

第2原発は「8・29再生の日」として、富岡町文化交流センターを会場に「世界トップレベルの安全・安心の発電所であるために」と題した説明会を開いた。

また、経済産業省原子力・安全保安院は同日、第1、第2原発の定期安全管理審査への評定結果を明らかにした。第1原発4号機では、検査用機器の測定範囲が要領書と整合していなかったことに関し、引き続き是正状況を観察する必要があるとし、3段階のうち2番目の「B」と評定した。【塚本弘毅】

以 上

世話役：道木 英之